

調査② 居宅サービス利用者調査（速報）

1 主な調査結果の抜粋（全体結果）

〔住まい〕

- ・ 住まいや住環境で困ったことでは、「住まいの段差や階段などの物理的な障壁（22.0%）」（前回：22.5%）が最も多く、「買い物をする場所が近くにない（19.4%）」（前回：15.4%）、「家族が近くにいない（10.4%）」（前回：7.5%）が続いている。（問1-1）
- ・ 今後の府中市への居住継続意向では、「ずっと住み続けたい（85.1%）」、「しばらくは住み続けたい（10.9%）」を合わせた割合が96.0%となっている。一方、「できれば市外に移りたい（0.8%）」、「市外に移りたい（0.3%）」を合わせた割合は1.1%となっている。（問2） ※新規・共通設問

〔医療・介護保険〕

- ・ 今後、どのように生活したいかでは、「自宅で家族の介護と医療・介護保険サービスを組み合わせて生活したい（31.1%）」（前回：37.6%）が最も多く、「自宅で家族を中心に医療や介護を受けたい（13.9%）」（前回：10.6%）、「自宅で家族に依存せずに医療や介護保険サービスの介護を受けたい（13.0%）」（前回：10.8%）が続いている。（問8）
- ・ 施設等への入所・入居の申し込みをしている又は検討している理由は、「家族が精神的・肉体的に疲れているため」が39.2%（前回：49.6%）、「1人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」が35.5%（前回：25.8%）、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」が28.6%（前回：29.2%）となっている。（問9-1）

〔生活支援〕

- ・ 利用している民間サービスでは、「民間の食事宅配サービス（12.5%）」（前回：13.1%）が最も多く、「民間の有償家事援助サービス（6.8%）」（前回：2.2%）が続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は48.4%（前回：60.7%）となっている。（問10）

〔認知症〕

- ・ 認知症について知っていることでは、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること（79.9%）」（前回：74.7%）が最も多く、「記憶障害や時間・場所が分からなくなるなどの症状があること（74.6%）」（前回：69.5%）が続いている。（問11）
- ・ 認知症になった場合の暮らしへの意向では、「医療や介護サービスを受けながら、暮らした地域で生活していきたい（39.8%）」が最も多く、「家族や地域の人たちの支援を受けながら、暮らした地域で生活していきたい（24.0%）」「介護施設（入所施設）などで必要な支援・介護を受けながら生活していきたい（20.2%）」が続いている。（問13） ※新規設問

〔地域生活と日ごろの活動〕

- ・ 主観的幸福度では、「8点（19.6%）」（前回：19.6%）が最も多く、次いで「5点（19.3%）」（前回：20.0%）、「7点（15.2%）」（前回：14.0%）、「10点（13.4%）」（前回：12.1%）と続いている。一方、「8点以上」の割合は40.4%（前回：39.3%）と半数近く、「2点以下」の割合は2.7%（前回：2.5%）となっている。（問14） ※新規・共通設問

- ・近所づきあいの程度では、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる（34.5%）」（前回：33.4%）が最も多く、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる（28.5%）」（前回：25.1%）が続いている。（問15） ※共通設問

〔災害時の対応〕

- ・災害時に備えて取り組んでいることでは、「特にしていない（43.7%）」（前回：49.5%）が最も多く、「市が作成した防災ハンドブックやハザードマップの確認（34.3%）」（前回：29.1%）、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流（17.0%）」（前回：12.3%）が続いている。（問19）

〔相談〕

- ・暮らしの問題や福祉などの困りごとの相談相手では、「ケアマネジャー（介護支援専門員）（63.6%）」（前回：60.7%）が最も多く、「家族や親族（54.8%）」（前回：54.8%）、「地域包括支援センター（32.5%）」（前回：22.3%）が続いている。（問21） ※共通設問

〔在宅療養〕

- ・人生の最期をどうすごしたいか、話し合ったことがない理由では、「自分の最期は家族等の判断に任せているから（54.9%）」が最も多く、「縁起でもないことを考えたくないから（13.4%）」、「話し合う必要がないから（6.0%）」が続いている。（問24-1） ※新規設問

〔主な介護者の状況や意向〕

- ・主な介護者の年齢では、「50歳代（24.3%）」（前回：19.7%）が最も多く、「60～64歳（16.7%）」（前回：16.1%）、「75～79歳（12.7%）」（前回：10.2%）が続いている。（問27）
- ・介護をしていくうえでの問題点では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる（51.9%）」（前回：51.0%）が最も多く、「介護がいつまで続くのか分からない（39.2%）」（前回：43.4%）、「肉体的に疲れる（34.3%）」（前回：32.9%）が続いている。（問32）
- ・介護者支援として必要と思うものでは、「介護者に対する定期的な情報提供（33.6%）」（前回：30.8%）が最も多く、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり（27.6%）」（前回：26.8%）、「在宅介護者への手当て（27.3%）」（前回：25.2%）が続いている。（問34）

〔主なご意見〕

- ・介護職員の人手不足の問題もあるので、認知症サポーター研修を受けられた方の活動の場としても職員さんの補助（見守り・話し相手）などお願いできたらありがたいと思っています。
- ・大事な書類がバラバラに届き、1枚書く度に受けているサービスやケアマネや訪問医に連絡して見せないといけない。

2 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	共通設問	新規
A 基本属性	◎	回答できない場合の理由		
	◎	記入者		
	F 1	性別		
	F 2	年齢		
	F 3	居住地域		
	F 4	家族構成		
B 住まい	問 1	住まい（一戸建て、集合住宅など）		
	問 1 - 1	住まいや住環境で困ったこと		
	問 2	今後の府中市への居住継続意向	○	○
C 医療	問 3	現在治療中の病気の有無		
	問 4	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無		
	問 5	在宅療養サービスの認知度		
D 介護保険	問 6	要介護度		
	問 7	要介護認定を受けたきっかけ		
	問 8	今後どのような生活を希望するか		
	問 9	施設入所の検討状況		
	問 9 - 1	申し込み、検討している理由		
	問 9 - 2	入所・入居申し込みをした施設・居住系サービスの種類		
E 福祉サービス	問 1 0	利用している民間サービス		
F 認知症	問 1 1	認知症について知っていること		
	問 1 2	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと		
	問 1 3	認知症になった場合の暮らしへの意向		○
G 地域生活と日ごろの活動	問 1 4	主観的幸福度	○	○
	問 1 5	近所づきあいの程度	○	○
	問 1 6	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け		
	問 1 7	これから参加したい活動		
H 災害時の対応	問 1 8	災害時に手助けをしてくれる人		
	問 1 9	災害時に備えて取り組んでいること		
I 情報	問 2 0	健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報の入手先		
	問 2 1	暮らしの問題や福祉などの困りごとの相談相手	○	
	問 2 2	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか	○	○
	問 2 2 - 1	悩みの内容		○
J 在宅療養	問 2 3	自宅で療養を続けたいと思うか		
	問 2 3 - 1	療養は可能だと思うか		
	問 2 3 - 2	そう思わない、難しいと思う理由は		
	問 2 4	人生の最後をどうすごしたいか、家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるか		
	問 2 4 - 1	話し合ったことがない理由		○
	問 2 5	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望		

調査項目	問番号	設問	共通設問	新規
K 主な介護者の状況や意向	問26	主な介護者		
	問27	主な介護者の年齢		
	問28	主な介護者の居住地		
	問29	介護している期間		
	問30	1日に介護している平均時間		
	問31	被介護者が生活するのによいところ		
	問32	介護をしていくうえでの問題点		
	問33	介護をされていて良かったと思うこと		
	問34	介護者支援として必要と思うもの		
	問35	介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市への意見・要望（自由記述）		

3 居宅サービス利用者調査 調査票

【調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします】

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないようにお答えください。

※回答はできる限り、あて名のご本人がご記入ください。ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や施設の職員がご本人の意見を聞いたうえでご記入ください。

◎この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○) (N=1,191)

1. あて名ご本人	49.3%	4. 娘・息子の配偶者	4.7%	7. その他の親族	0.7%
2. 配偶者(夫又は妻)	13.9%	5. 親	0.0%	8. 施設職員	0.2%
3. 娘・息子	25.3%	6. 兄弟・姉妹	0.8%	9. その他(具体的に:)	0.8%
				無回答	4.4%

あなた(あて名の方)についておたずねします

F1 あなたの性別※をお答えください。

※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。(1つに○)

(N=1,191)

1. 男性	36.3%	2. 女性	62.1%	3. その他	0.1%	4. 答えたくない	0.1%
						無回答	1.4%

F2 あなたの年齢をお答えください。

※令和7年10月1日現在の年齢でお答えください。(1つに○)

(N=1,191)

1. 65～69歳	3.0%	4. 80～84歳	21.9%	7. 95歳以上	7.6%
2. 70～74歳	7.2%	5. 85～89歳	25.2%	無回答	1.2%
3. 75～79歳	14.1%	6. 90～94歳	19.7%		

F3 あなたはどちらにお住まいですか。該当する福祉エリア1つに○をつけてください。(N=1,191)

福祉エリア	町名	%
1. 中央	天神町(1・2丁目)、幸町、府中町、緑町、宮町、八幡町、日吉町、宮西町(1丁目)、寿町、晴見町(1・2丁目)	16.6%
2. 白糸台	白糸台(車返団地除く)、小柳町(1・3丁目)、若松町(1・2丁目)、清水が丘(3丁目)	9.1%
3. 西府	東芝町、本宿町、日新町、西府町	6.5%
4. 武蔵台	武蔵台、北山町、西原町	7.1%
5. 新町	浅間町、天神町(3・4丁目)、新町、晴見町(3・4丁目)、栄町	10.4%
6. 住吉	南町、分梅町(2～5丁目)、住吉町	11.3%
7. 是政	小柳町(2・4～6丁目)、清水が丘(1・2丁目)、是政	9.2%
8. 紅葉丘	多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町(3～5丁目)	8.1%
9. 押立	押立町、車返団地	4.9%
10. 四谷	四谷	4.6%
11. 片町	矢崎町、本町、片町、宮西町(2～5丁目)、分梅町(1丁目)、日鋼町、美好町	11.0%
無回答		1.1%

F4 家族構成をお教えてください。(1つに○) (N=1,191)

1. 1人暮らし	27.2%
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	26.6%
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	0.8%
4. 息子・娘と同居	32.1%
5. その他(具体的に:)	12.2%
無回答	1.2%

あなたのお住まいについておたずねします

問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか(名義は問いません)。(1つに○) (N=1,191)

1. 持ち家の一戸建て(→問1-1へ進む)	54.0%
2. 持ち家の集合住宅(→問1-1へ進む)	19.0%
3. 民間賃貸住宅(一戸建て)(→問1-1へ進む)	1.0%
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)(→問1-1へ進む)	9.8%
5. 公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)(→問1-1へ進む)	8.8%
6. 高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)(→問1-1へ進む)	4.7%
7. その他(具体的に:) (→問2へ進む)	1.9%
無回答	0.8%

問1で「1」～「6」とお答えの方におたずねします

問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○) (N=1,159)

1. 住まいの段差や階段などの物理的な障壁	22.0%	7. 住まいの利用にかかる費用	8.8%
2. 買い物をする場所が近くにない	19.4%	8. 立ち退きを求められている	0.7%
3. 家の周りに階段や坂が多い	3.2%	9. 引越し先がない	1.6%
4. 家の周りの道に歩道がない、狭い	6.2%	10. 近隣トラブル	1.6%
5. 鉄道やバスの利用が不便	9.5%	11. その他(具体的に:)	4.5%
6. 家族が近くにいない	10.4%	12. 特にな	42.2%
		無回答	5.0%

問2 今後も府中市に住み続けたいと思っていますか。それともそうは思っていませんか。次の中から1つだけ選んでください。(1つに○) (N=1,191)

1. ずっと住み続けたい	85.1%	3. できれば市外に移りたい	0.8%
2. しばらくは住み続けたい	10.9%	4. 市外に移りたい	0.3%
		無回答	2.9%

医療についておたずねします

問3 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○) (N=1,191)

1. ない	3.9%	11. 外傷(転倒・骨折等)	7.7%
2. 高血圧	48.8%	12. がん(悪性新生物)	5.8%
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	12.5%	13. 血液・免疫の病気	2.3%
4. 心臓病	17.0%	14. うつ病	3.4%
5. 糖尿病	18.6%	15. 認知症(アルツハイマー病等)	19.7%
6. 高脂血症(脂質異常)	15.3%	16. パーキンソン病	4.9%
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	7.2%	17. 目の病気	19.1%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	5.9%	18. 耳の病気	8.3%
9. 腎臓・前立腺の病気	11.3%	19. その他(具体的に:)	16.4%
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	22.1%	無回答	1.7%

問4 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

(①から③のそれぞれ1つに○)

(N=1,191)	いる	いない	分からない	無回答
①かかりつけ医	94.5%	2.6%	1.1%	1.8%
②かかりつけ歯科医	64.4%	20.0%	3.2%	12.4%
③かかりつけ薬局	79.4%	8.2%	3.8%	8.6%

問5 在宅での療養が必要となった時に必要に応じ受けられるサービスがありますが、次のことを知っていますか。(①から⑥のそれぞれ1つに○) (N=1,191)

サービス名	サービスの内容	知っている	知らない	無回答
①訪問診療	通院が困難な方の自宅などに計画的・定期的に医師が訪問し、診療する。	73.0%	18.6%	8.3%
②往診	容体が急変した際など、不定期に患者の自宅などに医師が訪問し、診療する。	58.3%	29.4%	12.3%
③訪問歯科診療	通院が困難な方の自宅などに歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯の治療や入れ歯の調整等を通じて食事を噛んで飲み込めるよう支援を行う。	49.7%	37.9%	12.4%
④訪問薬剤管理	通院が困難な方の自宅などに薬剤師が訪問し、薬の飲み方や組み合わせ等の確認・管理、説明等を行う。	38.5%	48.9%	12.6%
⑤訪問栄養食事指導	管理栄養士が自宅等に訪問し、病状や食事の状況、栄養状態や生活習慣に適した食事等の栄養管理の指導を行う。	24.3%	62.0%	13.7%
⑥訪問によるリハビリテーション	通院が困難な方の自宅などに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが訪問し、運動機能や日常生活に必要な動作を行えるように、訓練や家屋の適切な改造の指導等を行う。	53.3%	34.7%	12.0%

問6 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

※令和7年10月1日現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている介護度でお答えください。(N=1,191)

1. 要支援1	16.0%	3. 要介護1	21.2%	5. 要介護3	10.3%	7. 要介護5	5.0%
2. 要支援2	16.5%	4. 要介護2	17.4%	6. 要介護4	7.9%	8. 分からない	2.4%
						無回答	3.3%

問7 最初に要介護認定を受けたとき、どなたから申請を勧められましたか。(いくつでも○)

(N=1,191)

1. 地域包括支援センターの職員	41.6%	5. 介護サービスを利用している友人	3.4%
2. 民生委員	1.5%	6. 息子や娘など親族	27.0%
3. かかりつけの医師	14.7%	7. 自分で調べた	5.7%
4. 入院したとき医師や看護師等から	23.3%	8. その他(具体的に:)	5.7%
		無回答	3.9%

問8 今後、どのように生活したいとお考えですか。(もっとも当てはまるもの1つに○) (N=1,191)

1. 自宅で家族を中心に医療や介護を受けたい	13.9%
2. 自宅で家族の介護と医療・介護保険サービスを組み合わせて生活したい	31.1%
3. 自宅で家族に依存せずに医療や介護保険サービスの介護を受けたい	13.0%
4. 自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で医療や介護を受けたい	9.3%
5. 見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で、介護を受けたい	5.5%
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい	7.8%
7. 医療機関に入院して医療や介護を受けたい	2.1%
8. その他(具体的に:)	2.1%
9. 分からない	8.5%
無回答	6.7%

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてうかがいます。(1つに○) (N=1,191)

1. 入所・入居は検討していない(→問10へ進む)	69.5%
2. 入所・入居を検討している(→問9-1へ進む)	12.3%
3. すでに入所・入居申し込みをしている(→問9-1、問9-2へ進む)	10.7%
無回答	7.6%

問9で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問9-1 申し込みをしている又は検討している理由は何ですか。(いくつでも○) (N=273)

1. 在宅介護サービスのみでは不十分だから	19.0%
2. 家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから	28.6%
3. 家族が精神的・肉体的に疲れているため	39.2%
4. 1人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから	35.5%
5. 入所・入居まで時間(期間)がかかるので、早めに申し込む必要があるから	13.2%
6. 自己負担の費用が少なくてすむから	7.7%
7. その他(具体的に:)	7.0%
無回答	12.5%

問9で「3」とお答えの方におたずねします

問9-2 入所・入居申し込みをした施設・居住系サービスの種類は何ですか。(1つに○) (N=127)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17.3%
2. 介護老人保健施設(老人保健施設)	6.3%
3. 介護医療院	0.0%
4. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	42.5%
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	16.5%
6. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着型の特別養護老人ホーム)	2.4%
無回答	15.0%

福祉サービスの利用状況についておたずねします

問 10 あなたは、以下のような民間サービスを利用していますか。(いくつでも○) (N=1,191)

1. 民間の食事宅配サービス	12.5%
2. 民間の有償家事援助サービス	6.8%
3. 民間の緊急通報・見守り支援サービス	6.0%
4. 民間の認知症高齢者等高齢者探索サービス	1.1%
5. 社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス	5.2%
6. 社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）	5.1%
7. 社会福祉協議会の福祉有償運送・移送サービス	3.4%
8. その他（具体的に：)	10.7%
9. 民間サービスは利用していない	48.4%
無回答	12.6%

認知症についておたずねします

問 11 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○) (N=1,191)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること	79.9%
2. 記憶障害や時間・場所が分からなくなるなどの症状があること	74.6%
3. 食生活や運動など、予防の効果が認められているものがあること	37.1%
4. 高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること	64.5%
5. 早期発見や診断後の適切な支援で、進行を遅らせて穏やかに暮らせるようになること	57.8%
6. どれも知らなかった	4.1%
無回答	4.9%

問 12 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。
(3つまでに○) (N=1,191)

1. 認知症に関する正しい理解が普及されていること	36.8%
2. 認知症への偏見がなく、認知症を隠さず話すことができ、助け合う雰囲気があること	36.8%
3. 認知症に関する不安や困りごとに関する相談体制が充実していること	38.2%
4. 自分でできることは自分で行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らせること	53.5%
5. その人に合った医療・福祉のサポートや連携の仕組みづくりがあること	37.1%
6. 認知症の人が社会での役割や生きがいをもって活動できる機会や場所があること	15.1%
7. 認知症の人の家族の交流会や相談会が充実していること	8.0%
8. 成年後見制度など認知症の人の権利を守る仕組みが浸透していること	9.3%
9. その他（具体的に：)	1.5%
無回答	6.6%

問 17 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(3つまでに○) (N=1,191)

1. 自分の楽しみが得られる活動	33.2%	7. 隣近所の人と協力し合える活動	6.5%
2. 興味ある知識や教養が得られる活動	11.9%	8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	5.5%
3. 自分の知識や経験をいかせる活動	7.9%	9. 地域や社会に役立つ活動	4.5%
4. 生きがいや健康づくりができる活動	25.4%	10. 行政への協力や地域自治に関わる活動	1.2%
5. 余暇時間を充実させる活動	11.3%	11. その他(具体的に:)	1.8%
6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動	12.8%	12. 特にない	35.3%
		無回答	8.8%

災害等の対応についておたずねします

問 18 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)
(N=1,191)

1. 同居の家族	57.3%	5. その他(具体的に:)	7.0%
2. 別居の家族	39.8%	6. いない	7.6%
3. 近所の人	19.7%	7. 必要ない	0.5%
4. 友人・知人	9.9%	無回答	4.5%

問 19 災害に備えてどのようなことをしていますか。(いくつでも○) (N=1,191)

1. 日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流	17.0%
2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実	4.8%
3. 地域での防災訓練への参加のお誘い	5.2%
4. 市が作成した防災ハンドブックやハザードマップ(地震、水害、土砂災害)の確認	34.3%
5. その他(具体的に:)	6.1%
6. 特にしていない	43.7%
無回答	6.3%

情報についておたずねします

問 20 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも○） (N=1,191)

1. 市の広報紙・ホームページ	36.6%	10. 民生委員・児童委員	1.5%
2. 市の相談窓口	3.8%	11. 家族や親族	35.4%
3. 地域包括支援センター	32.6%	12. 友人・知人・近隣の人	11.8%
4. 保健所・保健センター	0.4%	13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	23.5%
5. 社会福祉協議会	3.4%	14. 講演会・講習会等	1.3%
6. 介護予防推進センター	2.0%	15. インターネット、SNS	4.5%
7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	18.2%	16. その他（具体的に： ）	1.3%
8. ホームヘルパー（訪問介護員）	14.2%	17. 特になし	3.4%
9. ケアマネジャー（介護支援専門員）	60.1%	無回答	4.6%

問 21 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○） (N=1,191)

1. 市の相談窓口	18.4%	8. ケアマネジャー（介護支援専門員）	63.6%
2. 地域包括支援センター	32.5%	9. 民生委員・児童委員	1.8%
3. 保健所・保健センター	1.2%	10. 家族や親族	54.8%
4. 社会福祉協議会	3.3%	11. 友人・知人・近隣の人	12.1%
5. 権利擁護センターふちゅう	0.8%	12. その他（具体的に： ）	2.3%
6. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	14.6%	13. 相談できる人がいない	1.3%
7. ホームヘルパー（訪問介護員）	13.0%	無回答	4.3%

問 22 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか（1つに○） (N=1,191)

1. はい（→問22-1へ進む）	22.8%	2. いいえ（→問23へ進む）	65.7%	無回答	11.5%
------------------	-------	-----------------	-------	-----	-------

問 22 で「1」とお答えの方におたずねします

問 22-1 差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。（いくつでも○） (N=272)

1. 自分の健康・病気	62.9%	8. 住まい	21.0%
2. 家族の健康・病気	31.3%	9. お金（財産管理・相続含む）	28.7%
3. 自分の学業・仕事	1.8%	10. 人間関係、人との付き合い方	7.7%
4. 家族の学業・仕事	2.9%	11. 地域の治安のこと	4.4%
5. 自分の障害に関すること	17.6%	12. 災害時の備えに関すること	12.9%
6. 家族の障害に関すること	9.2%	13. 差別や偏見、人権侵害に関すること	1.8%
7. 家族の介護・介助	19.9%	14. その他（具体的に： ）	4.4%
		無回答	1.1%

在宅療養についておたずねします

問 23 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○) (N=1,191)

1. そう思う (→問 23-1へ進む)	30.7%
2. そう思わない (→問 23-2へ進む)	32.2%
3. 分からない (→問 24へ進む)	31.8%
無回答	5.2%

問 23で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします

問 23-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○) (N=366)

1. 可能だと思う (→問 24へ進む)	38.8%
2. 難しいと思う (→問 23-2へ進む)	35.0%
3. 分からない (→問 24へ進む)	24.0%
無回答	2.2%

問 23で「2. そう思わない」又は 問 23-1で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします

問 23-2 それはなぜですか。(3つまでに○) (N=512)

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから	25.6%
2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから	51.0%
3. 往診・訪問診療してくれる医師がないから	10.7%
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから	7.0%
5. 家族に負担をかけるから	64.8%
6. 看護や介護してくれる家族がないから	16.6%
7. 療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから	14.3%
8. お金がかかるから	16.0%
9. その他(具体的に:)	3.5%
10. 特に理由はない	1.4%
無回答	3.1%

問 24 あなたは、人生の最期をどうすごしたいか、ご家族等※や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つに○)

※ご家族等の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人(友人、知人)を含みます。(N=1,191)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している (→問 25 へ進む)	2.6%
2. 詳しく話し合っている (→問 25 へ進む)	3.6%
3. 一応話し合っている (→問 25 へ進む)	33.2%
4. 話し合ったことはない (→問 24-1 へ進む)	49.0%
5. その他(具体的に：) (→問 25 へ進む)	1.0%
無回答	10.7%

問 24 で「4. 話し合ったことはない」とお答えの方におたずねします

問 24-1 それはなぜですか。(もっとも当てはまるもの1つに○) (N=583)

1. 話し合える相手がいないから	5.8%
2. 話し合う必要がないから	6.0%
3. 話し合う時間がないから	5.1%
4. 縁起でもないことは考えたくないから	13.4%
5. 自分の最期は家族等の判断に任せているから	54.9%
6. その他(具体的に：)	10.8%
無回答	3.9%

問 25 市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

合計：146 件

次ページ以降は、あて名の本人を介護する主な介護者がいる方への質問です。主な介護者がいる方は 12 ページ・問 26 へお進みください。

主な介護者の状況や意向についておたずねします

問 26 あて名のご本人を主に介護しているのは、どなたですか。(1つに○) (N=779)

1. 配偶者	37.1%	4. 娘・息子の配偶者	6.9%	7. 孫	0.8%
2. 娘	34.3%	5. 兄弟・姉妹	3.1%	8. その他の親族	1.4%
3. 息子	16.0%	6. 親	0.5%	9. その他(具体的に:)	0.0%
				無回答	0.0%

問 27 あて名のご本人を主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに○) (N=779)

1. 18歳未満	0.0%	6. 60～64歳	16.7%	11. 85～89歳	7.2%
2. 18～29歳	0.3%	7. 65～69歳	11.7%	12. 90～94歳	2.1%
3. 30歳代	0.4%	8. 70～74歳	9.0%	13. 95歳以上	0.5%
4. 40歳代	4.6%	9. 75～79歳	12.7%	無回答	1.2%
5. 50歳代	24.3%	10. 80～84歳	9.5%		

問 28 あて名のご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに○) (N=779)

1. 同じ住宅	70.6%	4. 府中市内	13.9%
2. 同じ住宅ではないが同じ敷地	2.1%	5. 東京都内	6.2%
3. 同じ町内	1.9%	6. 東京都外(具体的に:)	3.0%
		無回答	2.4%

問 29 あて名のご本人を介護している期間はどのくらいですか。(1つに○) (N=779)

1. 1年未満	12.5%	3. 3年以上5年未満	24.3%	5. 10年以上	15.7%
2. 1年以上3年未満	23.2%	4. 5年以上10年未満	19.9%	無回答	4.5%

問 30 あて名のご本人の介護に1日に平均してどのくらい関わっていますか。(1つに○) (N=779)

1. 1時間未満	9.9%	4. 6～10時間未満	8.7%	7. 決まっていない	36.8%
2. 1～4時間未満	17.8%	5. 10時間以上	6.0%	無回答	5.3%
3. 4～6時間未満	8.3%	6. 1日中かかりきり	7.1%		

問 31 今後、あて名のご本人がどこで生活するのが良いと考えていますか。

(もっとも当てはまるもの1つに○)

(N=779)

1. 自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい	13.2%
2. 自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせで過ごさせたい	40.4%
3. 自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けながら過ごさせたい	3.9%
4. 自分や家族の状態に合わせて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で過ごさせたい	11.9%
5. 見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で過ごさせたい	4.6%
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で過ごさせたい	12.1%
7. 医療機関に入院して介護を受けさせたい	1.7%
8. その他(具体的に:)	1.2%
9. 分からない	4.7%
無回答	6.3%

問 32 介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。(いくつでも○) (N=779)

1. 十分な睡眠時間が確保できない	19.4%	11. 希望するサービスが受けられない	5.0%
2. 精神的に疲れ、ストレスがたまる	51.9%	12. 夜間のサービスが足りない	4.1%
3. 肉体的に疲れる	34.3%	13. 介護従事者のサービスの質が悪い	0.9%
4. 自分の自由な時間がない	31.5%	14. 介護に関して相談する相手がいない	1.8%
5. 家族や自分の仕事に影響がある	22.6%	15. 介護サービスに関する情報が少ない	4.1%
6. 自分以外に介護をする人がいない	32.7%	16. 事業所・医療機関などが家の近くにない	1.2%
7. 介護がいつまで続くのか分からない	39.2%	17. 介護と育児のダブルケアの負担が大きい	1.4%
8. 家族や親族の協力が得られない	7.3%	18. その他(具体的に:)	3.6%
9. 経済的な負担がかさむ	21.1%	19. 特にない	9.4%
10. 介護の方法が分からない	4.4%	無回答	10.0%

問 33 介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○) (N=779)

1. あて名ご本人とコミュニケーションができた	33.8%
2. 仕事や生き方の見直しにつながった	13.4%
3. 介護の専門職から知識を得られた	25.5%
4. 地域のことを理解できるようになった	5.8%
5. 同じ経験をする仲間と交流できた	5.8%
6. 介護の技術を学ぶことができた	8.3%
7. 介護保険制度が理解できた	24.8%
8. その他(具体的に:)	2.3%
9. 特にない	22.8%
無回答	13.0%

問 34 介護者支援策として必要だと思うのはどれですか。(3つまでに○) (N=779)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	33.6%
2. 介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ(探しやすさ、分かりやすさ)	26.2%
3. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	27.6%
4. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	7.8%
5. 電話や訪問による相談サービス	15.4%
6. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	3.9%
7. 家族会や介護者の自助グループ	1.2%
8. 在宅介護者への手当	27.3%
9. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	5.3%
10. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策	18.9%
11. 介護者の経験をいかした介護問題への発言の場づくり	2.2%
12. その他(具体的に:)	4.5%
無回答	16.4%

問 35 介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市へのご意見・ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

合計：168 件